

＼揃い踏み直前！／ 三つの長獅子を 一気にご紹介！

三つの長獅子は、各地区の有志の皆さんによって大切に受け継がれています。同じ「長獅子」と呼ばれる舞でも、動きや頭の使い方、頭食いの仕方にはそれぞれ独自の特徴があり、笛の合図に合わせた細やかな所作にも違いがあります。

今回、13年ぶりの長獅子揃い踏みとなる三春秋まつりを前に、伝統を守り続ける三つの団体の皆さんに一堂に会していただき、獅子頭や舞の違い、見どころ、長獅子を受け継ぐ想いについてお話を伺いました。



八雲神社(荒町地区)
荒獅子保存会



(左)副会長 丹伊田 雄一さん
(右)会長 渡辺 彰さん

八雲神社の長獅子は雌の獅子とされ、お腹の赤ちゃんを守るように後ろ向きで町内を進みます。道幅を斜めに使い、交差点ではくるくると回りながら子どもを守る舞を披露します。基本的には声を出さず、ゆったりとした動きですが、笛のリズムが変わるタイミングで、「前流し」と呼ばれる荒々しい舞に切り替わるのが大きな見どころ。ゆったりした踊りと「前流し」の荒々しい踊りとのギャップに注目すると、八雲神社の長獅子の奥深さをより楽しめます。

【長獅子が見られる日】…毎年7月26日・隔年で10月第2日曜日(三春大神宮祭礼)
【場所】…三春町字小浜海道171-1 八雲神社

田村大元神社(新町地区)
田村大元神社別火講中



(左)2番組 大世話人 清水 裕太さん
(右)1番組 大世話人 高橋 和也さん

田村大元神社の長獅子は、神輿渡御の先祓いとして町内を練り歩き、神様の通る道を清める役割を担います。道路いっぱいに使った直線的な舞が見どころです。田村大元神社別火講中の皆さんが伝統を継承する中で大切にしているのは、舞を構成する一つひとつの要素が持つ意味。動きや笛のタイミングなど、すべてに意味があり、それぞれの意味をしっかりと表現することで、伝統を次世代へつなごうとしています。

【長獅子が見られる日】…毎年7月「海の日」の前の日曜日、隔年で10月第2日曜日(三春大神宮祭礼)
【場所】…三春町字山中45 田村大元神社

八幡神社(八幡町地区)
八幡町若連



(左)会長 松崎 俊介さん
(右)幹事長 橋本 隆さん

八幡様の神輿渡御の先祓いとして町内を練り歩く八幡神社の長獅子は雄の獅子といわれており、その威勢のいい舞が見どころです。道路幅いっぱいに進み、左右に頭を振りながら、睨みつけるように舞います。女性への頭食いでは匂いを嗅ぐような素振りを見せ、元気な赤ちゃんの誕生を願う所作も。途中で休む「寝獅子」のパートや、髭の払い方や舞の余韻など、細部の魅せ方にもこだわって舞います。

【長獅子が見られる日】…毎年4月第3日曜日
【場所】…三春町字雁木田194 八幡神社

